

## 株式の概況 (2017年3月31日現在)

### ■株式の状況



### ■大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
アルプス電気(株)	16,526	46.8
ピーピーエィチフォーファイブライストストックファンド*	3,067	8.7
TDK(株)	2,804	7.9
アルパイン(株)	792	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	768	2.2

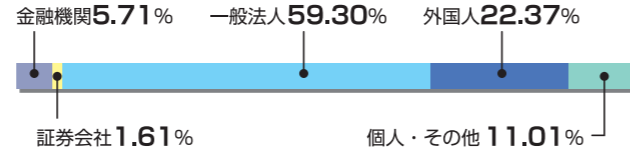
\*持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

## 会社情報 (2017年3月31日 現在)

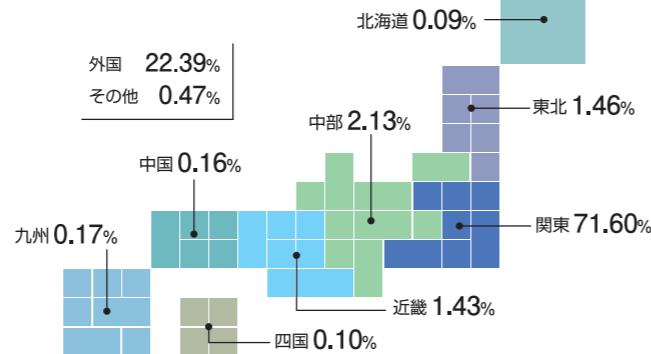
社名 株式会社アルプス物流 (証券コード 9055)  
 英文社名 ALPS LOGISTICS CO., LTD.  
 本社所在地 〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1756  
 電話番号 045-531-4133 (代表)  
 設立 1964年7月2日  
 資本金 23億4,904万円  
 社員数 (連結) 5,330名 (単独) 835名  
 運行車輛数 (連結) 3,204台 (単独) 624台  
 倉庫面積 (連結) 750,478m<sup>2</sup> (単独) 254,501m<sup>2</sup>

**物流個性** ●ホームページURL <http://www.alps-logistics.jp/>  
 ●IR情報URL <http://www.alps-logistics.jp/jpn/ir/index.html>  
お客様のための、最適物流を。

### ■所有者別株式分布状況



### ■地域別株式分布状況



### 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
 期末配当金受領株主確定日 3月31日  
 中間配当金受領株主確定日 9月30日  
 定時株主総会 毎年6月  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関 (連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11  
 TEL 0120-232-7111 (通話料無料)  
 上場証券取引所 東京証券取引所市場第2部  
 公告方法 電子公告

【ご注意】・住所変更等のお手続きは、口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせ下さい。  
 ・特別口座に記録された株式に関するお手続き、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

## 株式会社アルプス物流

2017年3月 本決算

# IRレポート

2016年4月1日から2017年3月31日まで

## IR REPORT

### 株主の皆様へ

初夏の候、株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本レポートでご報告します2016年度は、前半は急速な円高が進行しましたが、幸いにも夏場以降は電子部品の荷動きが増加に転じました。

このような事業環境のもと、当社グループは全社一丸となって、グローバル営業活動、拠点・ネットワークの拡充、各事業の生産性の向上などを推進してまいりました。

業績面では、連結売上が過去最高を更新するとともに、連結営業利益も50億円

台を達成するなど、前期比で増収増益の結果を残すことができました。

さて、2017年度は、円高再燃など厳しい環境ですが、中期計画で掲げた連結売上高1千億円の前倒しでの達成を目指すとともに、「Step Up 1000 : Next Actions」との事業方針を掲げ、一段上の飛躍に向けて物流インフラ、人財、品質など、あらゆる面でレベル・アップに挑戦してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長

白居 賢

## 当期の連結業績実績及び次期の連結業績予想

(単位：百万円、率：前期比増減)

2017年3月期 (実績)		2018年3月期 (予想)	
売上高	99,249 (5.8%) ↗	売上高	100,000 (0.8%) ↗
営業利益	5,083 (4.6%) ↗	営業利益	5,200 (2.3%) ↗
経常利益	5,402 (6.7%) ↗	経常利益	5,080 (△6.0%) ↘
親会社株主に帰属する当期純利益	3,026 (10.4%) ↗	親会社株主に帰属する当期純利益	2,860 (△5.5%) ↘

## 連結業績の概況 (2016年4月1日～2017年3月31日)



当社グループの主要貨物である電子部品の荷動きは、好調な車載向けに加え夏場以降はスマートフォン関連も活況に転じました。このような環境において、当社グループでは当期より第3次中期計画をスタートしました。「お客様毎の最適物流を追求し、グローバル成長を加速する」との中期方針のもと、①新領域への挑戦、②現場革・進と基盤強化、③競争優位性の拡大を推進し、引き続きグローバルにビジネスの拡大を図ってまいりました。連結売上高は、前期比5.8%増収の992億円に、連結営業利益は、4.6%増益の50.8億円となりました。

### ▼電子部品物流セグメント

電子部品の荷動きが好転する中で、グローバルに営業活動やネットワークの拡充を進め、売上を伸ばしました。円高の影響で円換算ベースでは2%の増収になりましたが、現地通貨では中国、東アジア、アセアン、北米、欧州の全地域で大幅増となりました。

### ▼商品販売セグメント

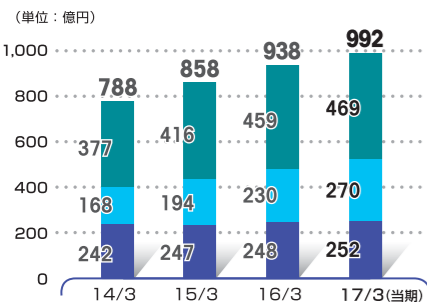
当期も顧客の車載関連の生産増が継続し、電子デバイスや成形材の販売が拡大し、17%の増収となりました。

### ▼消費物流セグメント

消費物流の(株)流通サービスは、強みのある分野への事業集中を進め、生協の個配を中心に売上を伸ばし、1%の増収となりました。

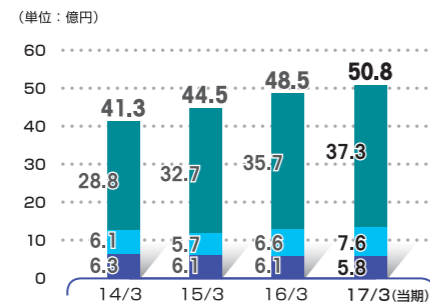
## 売上高

■ 電子部品物流事業  
■ 商品販売事業  
■ 消費物流事業

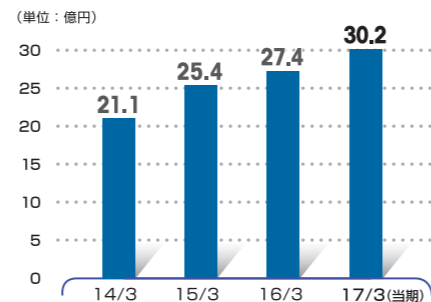


## 営業利益

■ 電子部品物流事業  
■ 商品販売事業  
■ 消費物流事業



## 親会社株主に帰属する当期純利益



## トピックス

### 2017年度の事業方針

当社グループは今年度、連結売上高1千億円の達成を目指すとともに、以下の事業方針のもと次のステージの成長に向けた基盤づくりを進めてまいります。

#### 2017年度事業方針

Step Up 1000

### Next Actions 「高度化する物流QCDSに挑戦」

#### Next GTB Get the Business 「新領域」への挑戦

- ・成長・拡充エリアへのネットワーク構築
- ・新ニーズの把握と新市場顧客の開拓

#### Next GTP Get the Profit 現場革・進と基盤強化

- ・一人・時間当たりの生産性・付加価値の向上
- ・TIEの展開とピース単位の自動化検証

#### Next GTC Get the Confidence 競争優位性の拡大

- ・「感動品質」「環境物流」「最適物流」の追求
- ・「感じのいい会社」の追求・働き方改革の推進

※QCDS：品質・コスト・デリバリー・サービス

### グローバルで拠点・ネットワークの拡充進む

当社グループは、2018年春の竣工に向け、埼玉県加須市で新倉庫の建設に着工します。土地面積3万3千㎡、倉庫面積1万6千㎡の規模で、東北から南下してくる貨物の保管・積み替え基地として、また輸出入貨物においても東北のゲートウェイとして活用します。



加須倉庫の予想図

海外では、香港で2万㎡の新倉庫の開設・統合を進めており、同地区全体で3万㎡に増床します。韓国ではソウル近郊の水原倉庫の増床や烏山倉庫の開設を行いました。アセアンでは中国～ベトナム、タイ～アセアン各国へのトラック国際陸送網を着々と拡げております。

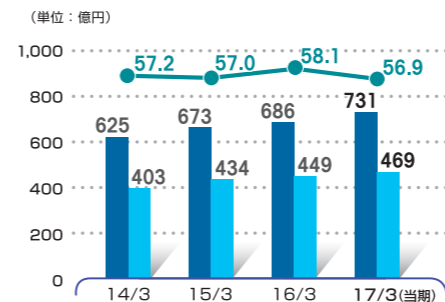


香港・粉嶺倉庫

今年度もグローバルネットワークを更に拡充し、より一層の成長を目指します。

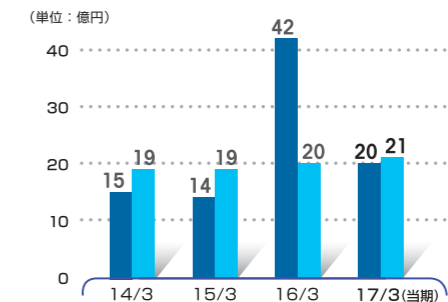
## 財政状況

■ 総資産  
■ 純資産  
● 自己資本比率(%)



## 設備投資・減価償却費

■ 設備投資  
■ 減価償却費



## ROE・ROA

● ROE  
● ROA

